



第24回全国ジュニアゲートボール大会
(埼玉県)
開催日 8月24日土・25日日

3年連続 全国大会出場 地域で掴んだ 3度目の切符

木村・霍田監督は「昨年と比べて、技術的にも向上し、何より、全国に行きたい！勝ちたい！」とやる気が伝わってくる。この夏休みでしっかり練習して大会に臨みたいと話しました。

武原・福田キャプテンは、「今年は、練習があまりできなかったが、その分集中してプレーしている。持ち前のチームワークの良さを活かして、大会では一試合一試合を大事にしたい」と抱負を話しました。



▲左からAチーム木村定徳監督、武原凜キャプテン
Bチーム福田有純キャプテン、霍田啓臣監督

高木ジュニアGBC（ゲートボールクラブ）が埼玉県熊谷市で開催される第24回全国ジュニアゲートボール大会に3年連続で出場することが決定しました。クラブ部員も12人に増えたことで、今年はA・Bの2チームに分かれて、全国優勝を目指します。



さあ行こう 吉無田で 風を切れ!!

7月6日、第1回目となる御船ジュラシクトレイルが開催され、吉無田の大自然を多くの参加者が走り抜けました。レースは、20kmの一般の部と3kmのキッズ・女性の部に分かれ、参加者は336人がエントリーしました。コースは、吉無田ならではの険しい坂やぬかるむ林道などがあり、その難所を越えた先には、峠から見下ろす絶景があります。20kmの一般の部で、優勝した栗原健誌選手（LA SPORTIVA 所属）は、「途中、走っている人とライバルになったが、互いに助け合うこともあり、楽しく走ることができました。（レースを通して）熊本から世界に出るような選手ができれば」と話しました。レース後は、化石発掘体験やバーベキューなどで楽しみ、参加者は夏の吉無田を存分に満喫しました。



優勝した(20kmの部) 栗原健誌選手
トレイルラン世界選手権・日本代表 森本幸司選手
RKK気象予報士 / ART完走者 MC栗原めぐみ

荒木コーチは「OWSは、タイムではない。順位がすべて。レースは、その時の天候で左右される。（江原さんは）泳ぎももっと積極的にいっていい。泳ぎながら駆け引きも重要になってくるので、今後の大会で養っていければ」と話しました。

江原さんは「昨年よりも海に慣れてきて、泳ぎにも余裕ができ、位置確認しながら泳げるようになった。日本選手権や国体では、昨年の順位より、もっと高みを目指したい」と決意を語りました。



▲5kmのレースで3位入賞

熊本県代表として出場した御船高校3年の江原奈穂さんが6月29日、鹿児島県阿久根市で行われた阿久根オーブンウォータースイミング（以下：OWS）に出場。7月6日に行われた第7回世界遺産屋久島OWS2019では、熊本NEOとして出場し、両大会とも3位の結果を残しました。

その結果により、日本選手権大会と国民体育大会の両大会の出場が決まり、2年連続の出場の快挙を成し遂げました。



参加者に INTERVIEW しました!



ジュラシクトレイルは
助け合い、交流が醍醐味

熊本市
もとまつ はやと
元松 勇人さん

初めてトレイルランに出場しました。レース中は、初対面同士でも選手間で雑談しながら、楽しく走れました。危ない場面では、お互いに声をかけ、助け合いながら走り抜きました。運営スタッフは、対応がとても丁寧で、時折声援をもらい、その度に元気付けられました。吉無田の自然を感じ、交流を楽しむ、とても面白みのあるトレイルランになりました。

2年連続 日本選手権・国体 出場決定 更なる高みへ



江原 奈穂（豊秋）
御船高校3年 / 熊本NEO所属
現在：日本ランキング2位（10代）

荒木 誠
熊本NEO代表取締役社長
兼御船高校水泳部コーチ

第74回国民体育大会OWS競技（茨城県）
開催日 9月11日土
第95回日本選手権OWS競技（千葉県）
開催日 9月21日土・22日日